

あきつ

2018年10月15日発行

第 619 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子



今年の夏は **暑** かったあ 

通園センター「プール」取組み

劇団「ほおずき」公演 **金のがちょう**

劇団「ほおずき」の皆さんが秋津にやってきてくれました。
 演目は「金のがちょう」
 覚えやすく、楽しい歌を繰り返しながら、元気な金のがちょうに
 くっついてどんどん行列が長くなっていきます。
 大会議室いっぱい集まった園生みんなは、思わず身体でリズムをとったり、歌ったり、本当に楽しい時間でした。
 帰りは、劇団の皆さんが花道を作って見送ってくれました。
 すてきな公演ありがとうございました。(サービス課 高橋)



ガムランコンサート in Akitsu

筑波大学付属視覚特別支援学校の音楽科の先生たちが『ガムラン』を聴かせてくれました。
 ガムランは、東南アジアのインドネシアで行なわれているドラや鍵盤打楽器による合奏の民族音楽です。
 園生は初めてみる楽器たちに興味津々。
 演奏が始まると各楽器が奏でる音やその振動が体の中まで響き渡って、みんな穏やかに聴き入っている様子が見られました。(サービス課 石川)



社会福祉法人
天童会



重症心身障害児(者)施設
 秋津療育園
 秋津療育園
 東村山市認可保育園

秋津療育園
 通園センター
 相談支援センター
 こひつじ園

〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1
 〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1
 〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1
 〒189-0002 東村山市青葉町 3-9-33

Tel.042-391-1377 Fax.042-392-5422
 Tel.042-306-1336 Fax.042-306-0138
 Tel.042-391-1345 Fax.042-391-1358
 Tel.042-394-9628 Fax.042-394-9628



企画対談

理事長
飯野 順子
園生
T.K さん

先日行われた秋津療育園創立60周年記念式典での理事長の挨拶の中に、T・Kさんが過去に書いた「今に生きる」という詩を飯野理事長が引用したことがきっかけとなり、対談を企画しました。それぞれの自己紹介の後、対談スタートです。
(問) 質問 答 || 答え 理 || 飯野 K || T・K さん
解説補助は生活指導員の松崎さんが担当です)



質 (K) 秋津療育園は好きですか？
答 (理) 好きとか嫌いとかではなく「運命だ」と思っています。年齢的にもこれが人生最後の仕事。今回秋津に来たのは運命。素晴らしい選択でした。

質 (K) なぜ秋津を選んだのですか？
答 (理) 私が選んだのではなく、誘ってくださった方がいました。なので、「はい、わかりました。よろしくお願ひします。」と返事をしました。なぜ私を誘ってくれたのかその方に聞いてみたいですね。もしかしたら私が東村山に40年住んでいたことも理由にはあるのかもしれないですね。

質 (K) 秋津で沢山の人の出会えましたが？
答 (理) 色々な職種の方、園生さん、沢山の方に出会えました。そして、初めてづくしで驚きの連続でした。また、秋津のことを全部

知った訳ではありませんが、やることはいっぱいありますね。「やらなきゃいけないこと、やりたいこと、やること。」があります。

質 (K) 式典で私の詩を読んで頂きましたが、他にも読まれましたか？
答 (理) はい、Kさんが若い頃に書かれた詩集を読ませて頂きました。

質 (理) 最近詠んだ詩もありますか？あれば是非読ませてください。そして、また、引用する機会があったら使わせてもらっても良いですか？
答 (K) 「はい。もちろんです。」(笑)

答 (理) 今回、本(詩)が取り持つ縁で、このような時間を設け、お話ができてたいへん嬉しいです。
今後開けた秋津療育園を目指したいと思っています

今回の対談は1時間にも及び、施設を運営する側と、それを利用する側、お互いを理解し合い尊重するという貴重な時間となりました。
Kさんは詩集を理事長にお貸しし、理事長は大事そうに受け取っていました。
今後良い関係が続きます。(支援課 松崎)

T・Kさん 昭和41年に9歳で当園に入所。脳性麻痺による重度の肢体不自由があり、日常生活は全て介助が必要ですが、唯一自分の意志で動かすことができる足で、電動タイプライナーを操作することに挑戦し、丸4年の努力を重ねて、初めて自分の名前の記録を印する事を達成しました。
その後フープロを経て、現在は足で操作できる特殊なマウスを使ってパソコンを操作し、詩作を楽しんでいます。

飯野 順子 (フイノ ジュン子)
東京教育大学では、特殊教育を専攻。養護学校の教員として18年。東京都教育委員会では、就学相談を担当。その中で医療的ケアの課題に出会いました。
その後都立養護学校や筑波大学附属盲学校の校長を歴任。2009年NPO法人地域ケアさぼとけ研究所を設立。2017年社会福祉法人「天童会」理事長に着任。

著書に「障害の重い子どもへの授業づくり〜7〜」など。また、「子どもが輝く授業づくり」等がある。

納涼会

通園センター便り

9月4日、納涼会を行いました。大型台風の直撃日とあってとても不安でしたが、無事実施することができました。

利用者も全員参加、ご家族も沢山の参加で大盛り上がりでした。

大太鼓の演武、気分はお祭り一色となりました。

今年用意した出し物は、的あて・魚釣り・虹色写真館の3つ。

的当てでは、ピッチングマシンロボットを作成し、一人一人がそれぞれに合った投げ方ができるように工夫されてありました。

的には点数があり、日中活動で何度も何度も練習を重ね、対策を練ってきたので、みんなとっても上手でした。

多目的室を海の中に見立てて、海の映像や波の音の中、行われました。

日中の活動で様々な魚を作成した物を

釣り上げるのが

最後の虹色写真

館の祭りの装飾の

りーを選んでつけて

「2人でこうやって

段ないからとっても

葉に納涼会が実施

することができま

最後はみんなで輪

ら、通園のお祭りは幕

を閉じました。

来年度もご家族との温かな一場面が見られるように楽しい企画を考えていきたい

と思います

釣り竿で釣りました。また

困難な方にはタコやイカ

けて取ったりもしました。

館では、屋台や花火な

前で沢山のアクセサ

撮影しました。

写真を撮る機会は普

嬉しい」との家族の言

できたことに喜びを感

た。

になり大太鼓を自由に叩きな



祝 古希・還暦



還暦

おめでとうございます

SさんとOさんが還暦を迎えました。ご両人ともたくさんのメッセージを頂き、そしてお友達からたくさんのおめでとうや、拍手。Sさんは感激の涙を流されていました。

栄養管理室作の還暦膳は、Sさんの大好きな納豆とお魚のメニュー！(^_^)おいしくいただきました。

Nice Shot
ナイスショット秋津



NICE

3棟 プール
夏はやっぱりプールですよ



3棟 デザートバイキング
みんな大好き!デザート



3棟 スイカわり
スイカに優しい感じがナイス!



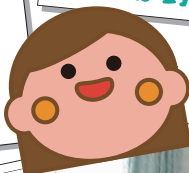
1棟 納涼会
なんか釣れた!なんだろ



2棟 デザートバイキング
ご家族と・・・嬉しそう!デス



4棟 納涼会
写真に写ってないけど
アヒル隊長が釣れた!やったね



1棟 スイカわり
優しい力加減がナイス!



2棟 納涼会
太鼓は任せたよ〜



2棟 デザートバイキング
おいしそう



NICE

1棟 納涼会
弾ける笑顔がグッド!ですねー



4棟 納涼会
不思議な世界観が・・・グッ!



2棟 デザートバイキング
美味しいものを食べると当然・・・

フットサル部

報告

2017年フットサル日本代表でフウガドールすみだの田村佳翔選手をお招きし、8月24日に初心者フットサルを開催いたしました。

田村選手の挨拶で「同じ施設の職員が、ここまでチームスポーツを通じて仲が良いのは凄く良い事。僕は仕事も一緒だと思っていて、話すことや伝えることを工夫するだけで、どんどんクオリティが上がると思います。僕は、コミュニケーションを意識することで、結果につなげ、プロ契約をつかみ取り、プロとして活動しています。

皆さんもコミュニケーションの質を考えながら仕事に活かして頂けると嬉しいです。」と頂きました。



(フットサル部 小池)

バレーボール部

報告

東京都医業健康保険組合主催のバレーボール大会(男女)に出場しました。今年新調のユニフォームで挑み、男子は3位という結果を残すことが出来ました。

来年はさらなる結果が残せるよう、頑張りたいと思います。これからも応援よろしくお願いいたします。

(バレーボール部 西中川)



(バレーボール部 西中川)



リハビリテーション室 リハだより

手作りのプレイトンネルについて紹介します。トンネルは、くぐり抜ける時の期待感があり、興味や関心を引きやすい遊びの一つです。

一方で、空間を狭くし周りから光や音を制限することで情緒を安定させたり、特定の刺激に注目しやすくしたり、狭いスペースに合わせて体を動かすことで、ボディイメージを育てたりといった効果も期待できます。また、トンネルの壁や天井に穴を開けてカラーセロハンを貼ったり、壁に綿や紙など貼り付けたりすると、見たり触ったりする遊びに広がります。

リハビリテーション室に来た際には、ぜひくぐってみてくださいね



野球観戦に行きました 西武ライオンズ × ソフトバンクホークス

埼玉西武ライオンズを応援するため、メットライフドームに外出しました。応援部隊は3名の利用者さんです。さて試合は、初回ライオンズがリード、応援にも熱が入ります。が、しかし途中回に逆転を許し敗北、残念! 試合は負けてしまいましたが、天気も良く、良い外出となりました。今年ライオンズはリーグ優勝!



来年もまた熱い声援を送ります。がんばれ!ライオンズ ライオンズマスコットのライナちゃんが来てくれました

野球部

報告

毎年恒例の施設対抗野球大会に出場しました。5施設によるトーナメント戦で勝ち上がり、決勝の相手は、島田療育センターチーム、最終回、対等の同点となり、勝敗の行方は、大会規定によりジャンケン、相手はパー、当方はグー・負けてしまいました。試合後は懇親会で試合の様子を振り返りました。来年はジャンケンの練習も必要ですね。野球部 照井

古い写真や文献の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。

重症児(者)対策におもう

全国重症心身障害児(者)を守る会 初代会長 北浦貞夫

この時にあたり、ひとしほ深く思われるのは、未だ重症心身障害児という言葉もなく、世の理解の全く無かった時代から今日まで、筆舌につくしがたい御苦労を重ねて、重症児を守ってくださった秋津療育園をはじめ民間施設のかたがたに對する限りない感謝であります。この御苦労のおかげで重症児(者)の問題がはじめて社会的にとり上げられるようになったばかりでなく、日本の社会福祉の対策に重大な盲点があったことがわかり、その格的に對策に乗らなりました。

秋津アーカイブ 秋津の古い写真と文献

このように重要な施設として多額の赤おりにあります。このまよいものでしょうか。国民全体で推進すべき問題であります。国民の一人一人に生き甲斐のあるいのちを保障するのは、もとより國の義務であると同時に、我々としてもまた、これを政府にまかせておけばそれでよいという問題では決してありません。

お互いの福祉は相互に積極的、死んでしまえば有名無実となり、死んでしまえば、民間施設が、今後ともますます積極的な使命を果たすことができるよう、國は此処で根本的な施策を考へるべきであり、私達重症児(者)の親は勿論のこと国民全体がこれに協力し、より立てねばならぬと思っております

(昭和41年発行 あきつ4号より) *現在と表現方法が異なる部分がありますが、原文のまま掲載しました

ご寄付 この度は、御寄付をたまりまして誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。今井和之様、宮地幸子様、美容恵の会様、上野禮子様、加藤寛二様、津田京子様、玉村利枝子様、遠藤里香様、藤村元邦様、泉匡様、柴田やよい様、富永孝子様、社会福祉法人一粒会の皆様、小原比佐子様、中島アヤノ様、社会福祉法人信愛報恩会の皆様、加藤貞子様、麻生和子様、伊豆野弘子様、川嶋明美様、田中和美様、緒方謙二郎様、榎本造園土木の皆様、東京清涼飲料工業組合の皆様、玉井芳子様、牧田勢津子様、佐藤悦子様、篠厚子様、武蔵野友の会の皆様、東京第三友の会の皆様、慶應義塾女子高等学校の皆様、さいたま市立高等看護学院の皆様、溝口明子様、天理教婦人会東本大教会の皆様、澤村彩子様